

臨床病態生理学

ナンバリング:N3-S1-B13

責任者・コーディネーター	看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授		
担当講座・学科(分野)	看護専門基礎講座		
対象学年	3	区分/単位数	講義/1単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

適切な看護を行うためには患者の身体に生じている異常がどのようなものであり、それがどのような障害や苦痛などの影響を患者に与えているのかを理解する必要がある。本科目では、根拠に基づいた適切な看護を実践するための思考力を養成するために病態学や解剖生理学、病理学、薬理学、生化学などの知識を統合し、それらを看護援助と関連付けて学修する。それにより患者の全身状態を把握するアセスメントに必要な観察項目を想起し、起こりうる看護問題を明確化するための基礎力を身に付ける。

・教育成果(アウトカム)

循環器系、血液・造血管系などの健康障害と人間の反応に関する基本知識を習得できる。また、病態学、薬理学などの幅広い知識を統合し、看護援助に直接応用できる臨床的思考力が養成される。患者の全身状態を正確に把握し、看護問題を的確に特定するためのアセスメント能力が高まる。さらに、特定の病態に対して理解を深め、それに基づく適切な看護介入の方法について考察できる。これらの成果は、質の高い看護を提供する上で不可欠な基盤となる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
6	災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。

・到達目標(SBO)

- 循環器系の健康障害と人間の反応
 - 循環器系の健康障害と人間の反応について概説できる。
- 血液・造血管系の健康障害と人間の反応
 - 血液・造血管系の健康障害と人間の反応について概説できる。
- 呼吸器系の健康障害と人間の反応
 - 呼吸器系の健康障害と人間の反応について概説できる。
- 内分泌・栄養・代謝系の健康障害と人間の反応
 - 内分泌・栄養・代謝系の健康障害と人間の反応について概説できる。
- 免疫系、感染防御系の健康障害と人間の反応
 - 免疫系、感染防御系の健康障害と人間の反応について概説できる。
- 感覚器・神経・運動器系の健康障害と人間の反応
 - 感覚器・神経・運動器系の健康障害と人間の反応について概説できる。
- 精神・心身の健康障害と人間の反応
 - 精神・心身の健康障害と人間の反応について概説できる。
- 薬物及び薬物投与による人間の反応
 - 主な治療薬(末梢神経系に作用する薬、中枢神経系に作用する薬、循環器系に作用する薬、血液に作用する薬、呼吸器系に作用する薬、内分泌・代謝系に作用する薬、腎・尿路系に作用する薬、免疫系に作用する薬、予防接種、抗感染症薬、消毒薬、抗アレルギー薬、抗炎症薬)の作用、機序、適応、有害事象及び看護援助を説明できる。

・授業日程

【講義】

会場：マルチメディア教室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/2 (木) 1限	<p>【授業内容】循環器疾患の病態 1) 高血圧症・動脈硬化症 ・高血圧の病態を関連図にまとめ、看護問題を特定することができる。</p> <p>教科書(看護のための臨床病態学):p136-146 電子テキスト(疾患別看護過程):p289-307 【関連するSBO】1、8 【事前学修:60分】指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修:90分】配布した問題演習資料を用いて授業の振り返りをする。また、教科書およびe-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス)を活用し、学修したことをノートにまとめる。</p>	看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授
4/17 (金) 1限	<p>【授業内容】循環器疾患、血液・造血管疾患の病態 1) 狭心症・心筋梗塞 2) 貧血 ・虚血性心疾患の病態を関連図にまとめ、看護問題を特定することができる。 ・貧血の病態を関連図にまとめ、看護問題を特定することができる。</p> <p>教科書(看護のための臨床病態学):p113-121、p523-529 電子テキスト(疾患別看護過程):p164-200、p726-741 【関連するSBO】1、2、8 【事前学修:60分】指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修:90分】配布した問題演習資料を用いて授業の振り返りをする。また、教科書およびe-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス)を活用し、学修したことをノートにまとめる。</p>	看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授
5/15 (金) 2限	<p>【授業内容】呼吸器疾患の病態 1) 気管支喘息 2) 結核 ・気管支喘息の病態を関連図にまとめ、看護問題を特定することができる。 ・結核の病態を関連図にまとめ、看護問題を特定することができる。</p> <p>教科書(看護のための臨床病態学):p32-35、p37-39 電子テキスト(疾患別看護過程):p88-102、p50-69 【関連するSBO】3、8 【事前学修:60分】指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修:90分】配布した問題演習資料を用いて授業の振り返りをする。また、教科書およびe-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス)を活用し、学修したことをノートにまとめる。</p>	看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授
5/18 (月) 1限	<p>【授業内容】消化器疾患、運動器疾患の病態 1) ウイルス肝炎 2) 骨粗鬆症 ・ウイルス肝炎の病態を関連図にまとめ、看護問題を特定することができる。 ・骨粗鬆症の病態を関連図にまとめ、看護問題を特定することができる。</p> <p>教科書(看護のための臨床病態学):p240-255、p318-319 電子テキスト(疾患別看護過程):p483-502、p1577-1600 【関連するSBO】5、6、8 【事前学修:60分】指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修:90分】配布した問題演習資料を用いて授業の振り返りをする。また、教科書およびe-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス)を活用し、学修したことをノートにまとめる。</p>	看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授

5/22 (金) 2限	<p>【授業内容】代謝疾患の病態 1) 糖尿病 ・糖尿病の病態を関連図にまとめ、看護問題を特定することができる。</p> <p>教科書(看護のための臨床病態学):p293-307 電子テキスト(疾患別看護過程):p604-630 【関連するSBO】4、8 【事前学修:60分】指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修:90分】配布した問題演習資料を用いて授業の振り返りをする。また、教科書およびe-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス)を活用し、学修したことをノートにまとめる。</p>	看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授
5/29 (金) 2限	<p>【授業内容】代謝疾患の病態 1) 高尿酸血症 2) 脂質異常症 ・高尿酸血症の病態を関連図にまとめ、看護問題を特定することができる。 ・脂質異常症の病態を関連図にまとめ、看護問題を特定することができる。</p> <p>教科書(看護のための臨床病態学):p311-315 電子テキスト(疾患別看護過程):p666-682、p631-646 【関連するSBO】4、8 【事前学修:60分】指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修:90分】配布した問題演習資料を用いて授業の振り返りをする。また、教科書およびe-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス)を活用し、学修したことをノートにまとめる。</p>	看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授
6/5 (金) 1限	<p>【授業内容】精神疾患の病態 1) 統合失調症 2) うつ病 ・統合失調症の病態を関連図にまとめ、看護問題を特定することができる。 ・うつ病の病態を関連図にまとめ、看護問題を特定することができる。</p> <p>教科書(看護のための臨床病態学):p795-801 電子テキスト(疾患別看護過程):p1306-1331、p1332-1345 【関連するSBO】7、8 【事前学修:60分】指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修:90分】配布した問題演習資料を用いて授業の振り返りをする。また、教科書およびe-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス)を活用し、学修したことをノートにまとめる。</p>	看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授
6/12 (金) 1限	<p>【授業内容】免疫疾患・膠原病、内分泌疾患の病態 1) 関節リウマチ 2) 甲状腺機能亢進症 ・関節リウマチの病態を関連図にまとめ、看護問題を特定することができる。 ・甲状腺機能亢進症の病態を関連図にまとめ、看護問題を特定することができる。</p> <p>教科書(看護のための臨床病態学):p566-572、p347-350 電子テキスト(疾患別看護過程):p986-1004、p684-700 【関連するSBO】4、5、8 【事前学修:60分】指定した教科書のページを事前に読み、要点をまとめる。 【事後学修:630分】 (90分:配布した問題演習資料を用いて授業の振り返りをする。また、教科書およびe-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス)を活用し、学修したことをノートにまとめる。) (540分:定期試験対策学修をする。)</p>	看護専門基礎講座 塚本 恭正 准教授

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	看護のための臨床病態学 改訂第5版	浅野嘉延 他 編	南山堂	2023
参	病期・病態・重症度からみた疾患別看護過程+病態関連図(e-Nurse Trainer:大学図書館データベース)	井上智子 編 他	医学書院	-
参	系統別看護師国家試験問題WEB(大学図書館データベース)	-	医学書院	-

教:教科書 参:参考書 推:推薦図書

・成績評価方法

【総括的評価】定期試験(多肢選択式問題)にて評価する(100%)。
 【形成的評価】毎回の授業で配布する自習用ドリルに掲載されている問題を授業中に解かせ、授業内容の理解度を確認する。

DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
1,2,3,6,7	1~8		100					100
合計		0	100	0	0	0	0	100

〈備考〉

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】
 課題レポートから多くの学生が理解していない項目や習得できていない項目を把握し、次回以降の授業で取り上げ、知識の定着と理解の促進を図る。

【その他】

1. 各回の授業の中で教員とのディスカッションの機会を設ける。
2. 事後の自主学修において「e-Nurse Trainer(電子教育ソリューションサービス: 本学図書館を經由して接続)」を用いた発展学習を推奨する。この使用方法や内容等については授業で説明する。
3. また、「e-Nurse Trainer」および「系統別看護師国家試験問題WEB(本学図書館を經由して接続)」の教材を用いた課題レポートを課す。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】
 看護師(別表3): 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】
 当該科目に関連する実務経験の有無 無

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	ノートパソコン Vostro16 Corei7 1360P	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影